

## 教団「東日本大震災救援募金」にご協力をお願いいたします

統括主任 飯塚拓也

今ニュース 25 号で 11 月 23 日現在の会計報告を行っていますが、皆さまから 21,362,427 円もの尊い献金がささげられました。本当に感謝です。この献金に、教団救援対策基金より 10,000,000 円が加えられました。

支出としては、ボランティア活動を支援する「支援活動費」と、教区内の支援（被災教会へのお見舞い、建物簡易診断、水戸中央教会の仮牧師館の家賃）、支援委員会費です。また、水戸中央教会の解体工事のための貸出し（5,000,000 円）や益子教会の復旧工事費の支払いの立て替え（4,380,000 円）も、この会計から支出しています。

加えて、水戸自由ヶ丘教会の復旧工事費の一部立て替え（2,032,500 円）や、桐生東部教会の仮牧師館のための入居費、信徒宅のお見舞いにも取り組んでいく予定です。いただいた献金の使途はほぼ決まっていて、感謝して用いさせていただきたいと思っています。

さて、もう一方で、「被災教会の会堂等の再建」への取り組みがこれから始まります。奥羽、東北、そして東京にも及ぶ大きな課題ですが、関東教区だけでも、水戸中央教会、宇都宮教会、伊勢崎教会、桐生東部教会と被害の大きな被災教会が多く、同時に、規模の大きくない教会の被災も見逃せません。教会会計に与えるダメージは大きいのです。関東教区の被災教会と被災幼児施設の被害は約 4 億に上る見込みですし、栃木地区にあるアジア学院の再建計画は 5 億 3 千万円とのことでした。

この「被災教会の会堂等の再建」の原資となるのが、教団「東日本大震災救援募金」（いわゆる「10 億円募金」）です。その募金計画では、10 億円のうち 5 億円が会堂再建に当てられるそうです。つまり、何としてもこの 10 億円募金の目標を達成させなければならないのです。11 月 25 日に発行された、「東日本大震災救援対策本部ニュース」には、この「日本基督教団東日本大震災救援募金」（10 億円募金）に関してこう述べてありました。

〈56,240人×100円×4週×12月×4年〉…教団の礼拝出席者が、毎週 100 円を 4 年間献げてくださると、10 億円を超えるそうです。

〈11246祈りの時〉…大震災発生の「11日午後2時46分」を、それぞれの教会が毎月覚え祈ることを通して、献金運動の広がりが願われています。

教団年鑑 2012 の教勢一覧によると、2010 年の関東教区の礼拝出席者数は 4,629 人です。これを上記の計算に当てはめると、4,629 人×100 円×4 週×12 月=22,219,200 円です。

2010 年の関東教区内諸教会伝道所の経常収入合計は 874,879,000 円ですから、上記の 22,219,200 円は、経常収入の 2.53%に該当することとなります。

これを 4 年間続けると、22,219,200×4=88,876,800 となり、経常収入の 10.12%となります。つまり、「みんなで 4 年間かけて経常収入の 1 割強をささげる」ことが目標と言えるでしょう。かつて、「新潟県中越地震」の際に、関東教区は被災教会の会堂等再建支援募金のために、1 億 5 千万円の募金目標額の 50%、75,000,000 円を関東教区の目標額として募金に取り組みました。この目標額は、経常収入の 8.5%だったのです。そして、この目標額を、3 年弱で達成したのです。こう考えると、「みんなで 4 年間かけて経常収入の 1 割強をささげる」が、私たちにとって身近な目標になるのではないでしょうか。

そのために、何より、私たちの思いを一つにしましょう！私たちの祈りを一つにしましょう！

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、

一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

〈コリントの信徒への手紙一 12 章 26 節〉

## 第 10 回委員会報告

小池 正造（被災支援委員）

11月25日大宮教会において行われた、第10回東日本大震災被災支援委員会の報告をいたします。

最初に秋山委員長より、教団世界宣教委員会を經由してスイス・ミッション 21 より、教会幼稚園・保育園に対して、震災被害による退園者発生において生じる経済的損失への援助申し出があり、秋山委員長が電話取材で作成した資料を基に確認をし、一部を追加しました。

各地区報告が行われ、新潟地区は、新潟県医師会より助成金をいただき、これをもとにボランティアコーディネーターの育成を検討していることが報告されました。群馬地区は、11月23日に地区大会が行われ、各教会・伝道所の状況を共有し、祈りの課題としたことが報告されました。栃木地区は、益子教会の修復が完成し11月17日に引き渡しが行われたこと、11月23日に信徒大会が行われアジア学院大津校長、パン宣教師よりアジア学院の現状を伺ったことが報告されました。茨城地区は、11月23日に役員研修会が行われ、水戸市内三教会の現状が報告されました。水戸自由が丘教会は、12月5日修復工事が完成します。

11月8日常置委員会において、益子教会（1,820,000円）、水戸自由が丘教会（2,032,500円）、アジア学院（100,000,000円）について、教団に支援要請をすることを決定しました。これについて、支援委員会でも一部資料の訂正をしたうえで、教団に要請書を送付することを確認いたしました。

1月16日（月）から17日（火）にかけて、茨城地区、栃木地区、群馬地区の被災教会を訪問して、教職だけでなく、役員の方々にもお集まりいただき、各教会・伝道所の抱える課題を伺う拡大委員会を開催することといたしました。茨城地区は16日午後に水戸中央教会で、栃木地区は17日午前に宇都宮教会で、群馬地区は17日午後に甘楽教会で、拡大委員会を持ちます。

3.11 記念礼拝について、新潟地区並びに、茨城地区は、地区総会を予定していますので、各地区と協議をして、地区総会の中で、記念礼拝を持てるように調整いたします。なお、教区で連祷を作成いたしますので、3月11日の主日礼拝の中でも用いてください。

12月11日（日）午後4時より、益子教会復興感謝礼拝がもたれます。教団救援委員会にもご案内をすることに決まりました。

会計報告（2011.11.23日現在）

（単位：円）

収入の部		支出の部	
献金	21,362,427	支援活動費	2,633,332
教団救援対策金	10,000,000	教会支援費	3,598,286
		支援委員会費	948,964
		貸出金	9,380,000
収入計	31,362,427	支出計	16,560,582
		残高	14,801,845
合計	31,362,427	合計	31,362,427